

【小学校・中学校・義務教育学校用】

令和7年度学校評価 結果・学校関係者評価

| 達成度（評価） | |
|---------|-------------|
| A | 十分達成できている |
| B | おおむね達成できている |
| C | やや不十分である |
| D | 不十分である |

様式1(小・中)

| | |
|------------------|--|
| 学校名 | 唐津市立長松小学校 |
| 1 前年度 評価結果の概要 | <ul style="list-style-type: none"> ・学び全体の見直しをもち、振り返りを充実させることで、主体的な学びにつながる。引き続き、研究を充実・継続させ、学力向上に努めていきたい。 ・児童の気持ちによりそい、家庭やスクールカウンセラー、各相談機関とも連携しながら、心の教育の充実や教育相談体制の充実に努めていきたい。 ・「創立150年」を合言葉とし、コミュニティスクールとして、地域や保護者の方々の協力を得ながら、長松小学校の様子を積極的に伝え、子どもたちが充実した学校生活を送ることができるようにしていきたい。 |

| | |
|----------|---------------------------------------|
| 2 学校教育目標 | 【えがお】いっぱい 長松小 ～創立150年 まつばのひしの ほこりも高く～ |
|----------|---------------------------------------|

| | |
|------------|---|
| 3 本年度の重点目標 | <p>考える力 自分の考えを伝えたり友だちの考えをわかったりすること</p> <p>心の力 人が生きる権利について考え、気づき、行動する気持ちをもちこと</p> <p>体の力 学校へ歩いて登校したり、食べ物について考えたりすること</p> |
|------------|---|

4 重点取組内容・成果指標 5 最終評価

| 重点評価項目 | 重点取組 | | 具体的取組 | 最終評価 | | 学校関係者評価 | | 主な担当者 |
|------------|---|---|--|-------------|---|---------|--|--------------|
| | 評価項目 | 取組内容 (成果指標) | | 達成度 (評価) | 実施結果 | 評価 | 意見や提案 | |
| | | | | | | | | |
| ●学力の向上 | <ul style="list-style-type: none"> ○単年で指導事項、評価基準など学年で確認し、学習課題や学習計画を立てる。 ○授業の7つのポイントをもとに、授業の質的改善を図る。 | <ul style="list-style-type: none"> ○「何を学習し、どんな力が身についたか振り返り」の記入を徹底し、学習の振り返りができることと肯定的な回答をする児童80%以上 | <ul style="list-style-type: none"> ・次の学習に生かせるように学習内容や学び方を振り返りカードに書く。 ・個々の授業力向上を図るため校内研究を充実させる。 | B | <ul style="list-style-type: none"> ・全員公開授業、実践報告を目指したが、こちらも80%実施にとどまった。 ・授業の質的改善を継続して行っている学校の取組を、ぜひ参考にしたいのか、を意識した振り返りができている。 | B | <ul style="list-style-type: none"> ・全体的に集中して学習している姿が見られた。 ・授業にタブレットを取り入れてあり、子ども達も違和感なく慣れているが、一方で読む、書くことも学習を深めるうえで意味あると思うので、両方の良さを取り入れてほしい。 | 授業研究部 |
| ●心の教育 | <ul style="list-style-type: none"> ○「望ましい生活習慣の形成」 | <ul style="list-style-type: none"> ●授業以外で運動やスポーツを行う時間が1週間420分以上の児童が80%以上 ●「健康に良い食事をしている」児童生徒80%以上 | <ul style="list-style-type: none"> ・身体みの体育館開放による、運動遊びの推奨。 ・日々の給食指導に加え、年4回給食指導を設け、全職員で指導を徹底する。 ・月に一度衛生検査を実施し、身辺の衛生について意識づけさせる。 ・1つから年単位で実施数による歯磨き指導を行う。 | B | <ul style="list-style-type: none"> ・運動やスポーツの目標である80%以上は達成できなかったが、外で遊ぶ児童は増加した。 ・給食授業は減少傾向だが、学級差が大きい。 ・各学級での歯みがき指導を継続して実施できた。 | B | <ul style="list-style-type: none"> ・早く登校し、給食前まで運動場で運動していることは非常に喜ばしい。 ・年毎早起きの習慣化、寝る前のスマホ禁止なども取り入れてはどうか | 保健部 |
| ●特別支援教育の充実 | <ul style="list-style-type: none"> ○特別支援教育に関する教職員の専門性と意識の向上 | <ul style="list-style-type: none"> ○特別支援教育に関する研修を年3回以上行う | <ul style="list-style-type: none"> ・研修会を実施する。 ・ケース会議を開く。 ・全職員による支援の必要な児童の情報共有と支援学級担任が中心となつての具体的な支援を提供する。 | B | <ul style="list-style-type: none"> ・計画通りに研修会や校内教育支援委員会を行い、適切な指導を行った。 ・特別支援コーディネーターが中心となり、情報共有や個別指導を行うことができた。 | B | <ul style="list-style-type: none"> ・特別支援教育について全職員で今後も研修を深めてほしい。 | 特別支援教育担当 |
| ●特別支援教育の充実 | <ul style="list-style-type: none"> ○特別支援教育に関する教職員の専門性と意識の向上 | <ul style="list-style-type: none"> ○特別支援教育に関する研修を年3回以上行う | <ul style="list-style-type: none"> ・研修会を実施する。 ・ケース会議を開く。 ・全職員による支援の必要な児童の情報共有と支援学級担任が中心となつての具体的な支援を提供する。 | B | <ul style="list-style-type: none"> ・定期的なコミュニティ通信を発行し、学校の様々な取り組みを、HPで紹介した。 ・地域へ進んで発信する取組について、地域の方から嬉しい情報もいただくもあつた。校内放送でも全校児童に紹介した。 ・毎月ごみ拾い活動や委員会による地下道清掃などの取り組みは、着実に児童の地域貢献として、豊かな心の育成につながっている。 | B | <ul style="list-style-type: none"> ・学年別のごみ拾い活動は地域貢献として助かっている。 ・地域行事への参加があり、地域の方や保護者と一緒に参加することで、周囲の人の見守りや応援があることの喜びなどを実感できてよいと思う。 ・挨拶をもっとできる学校になってほしい。 | コミュニティスクール担当 |

| | |
|----------------|--|
| 5 総合評価・次年度への展望 | <ul style="list-style-type: none"> ・学力向上指定校として、さらに研究を充実・継続させ、授業改善を図りながら学力向上に努めていきたい。 ・児童の気持ちによりそい、家庭やスクールカウンセラー、関連機関とも連携しながら、心の教育の充実や教育相談体制の充実に努めていきたい。 ・コミュニティスクールのことをもって地域に発信し、地域や保護者の方々の協力を得ながら、子ども達が充実した学校生活を送ることができるようにしていきたい。 |
|----------------|--|